

第2回 浜北北部中学校運営協議会

令和6年9月19日(木)
浜北北部中学校尽力ホール
13時30分～15時30分
全体司会：教頭

1. 会長挨拶
2. 校長挨拶
3. 学校運営協議会参加者確認

委員	山本 忠雄	会長
委員	池谷 真也	副会長
委員	和田 安彦	
委員	矢野 陵子	
委員	室内恵理香	学校支援 CD
委員	鈴木 貴子	
委員	加藤 悦子	
委員	小西 雅子	PTA 副会長

<学校>

校長	中野 有哉	
教頭	松島 歩	
CS 担当教職員	石島 正巳	
CS ディレクター	岡本 奈緒	学校支援 CD

4. 議長の選出
5. 前回会議録の確認
6. 熟議
(1) R6年度活動目標について

(2) 学校支援ボランティア参観報告と今後の支援内容の充実

7. 報告
休日部活動の地域移行について

8. 連絡

- ・ 令和6年度 合唱コンクール

日時：令和6年9月26日(木)

場所：サーラ音楽ホール

10:10～10:50 1年生の部・9組合唱

11:05～11:45 2年生の部

12:40～13:30 3年生の部

- ・ 学校運営協議会開催計画

第3回 令和6年12月10日(火) 13:30～ 浜北北部中尽力ホール
生徒会本部との交流予定

第4回 令和7年2月 7日(金) 13:30～ 浜北北部中尽力ホール
学校評価、自己評価について

令和6年度 第1回 学校運営協議会 会議録（要点記録）

1. 開催日時 令和6年6月4日（火） 14時00分から15時30分まで
2. 開催場所 浜松市立浜北北部中学校 尽力ホール
3. 出席委員 山本忠雄 池谷真也 和田安彦 矢野陵子 鈴木貴子 加藤悦子 小西雅子
室内恵理香（学校支援CD）
4. 欠席委員 なし
5. オブザーバー 細川恭由（中瀬協働センター）
6. 学校支援コーディネーター（委員外） 岡本奈緒（兼CSディレクター）
7. 学 校 中野有哉（校長） 松島 歩（教頭） 石島正巳（CS担当教員）
柳瀬翔太（生徒指導主事）
8. 教育委員会 井島健蔵（教育総務課）
9. 傍 聴 者 なし
10. 会議録作成者 CSディレクター 岡本奈緒
11. 議長の選出

司会より議長を会長にお願いしたい旨を伝え、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

12. 協議事項

- (1) 学校運営の基本方針について
- (2) いじめ防止等のための基本的な方針について
- (3) 昨年度の報告、今年度の目標設定
- (4) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

13. 会議記録

司会の教頭より、委員総数8名のうち8名の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 今年度の学校運営基本方針について

校長より、別紙資料に基づき説明があり委員全員で再確認した。また、委員からは以下の質問があった。

池谷委員：日本語初期適応浜北教室の申し込み窓口はどこなのか。

校長：窓口は教育支援課。そこから本校に受け入れ要請がくる。

矢野委員：需要があるのでこの浜北北部中に開校したのか。

校長：本校が、沿線上であること、空き教室があるからだと聞いている。

(2) いじめ防止等のための基本的な方針について

生徒指導主事より、別紙資料に基づく説明と、いじめ認知件数についての報告があり、委員からは以下の発言があった。

生徒指導：今年度のいじめ認知件数は現在4件。浜松市全体としても増加傾向にある。本校の多くはSNSのトラブル、言葉遣い、コミュニケーション不足からのいじめが多くみられる。5月に開催したSNS講座等を今後も行いながら認知件数の減少に繋げたい。また、年5回生活アンケートを実施。合わせて2者面談・3者面談で対応している。今年度の新しい取り組みとして6月、校長より命についてのメッセージが追加され、さらには、毎月「こころの天気モニター」と「にこにこの日」を行い、早期発見・早期対応ができるよう、子どもとのコミュニケーションを積極的に取っている。

学校全体としては、校内学びの教室には現在3学年で11名程度の在籍がある。授業によってはメリハリがつけられなくなる等、課題もある。

小西委員：認知が不登校につながっていることはないのか。男女比や解消後の推移等、もう少し踏み込んだところがあるなら教えてもらいたい。また、認知後、先生たちとの関わりの中で解消とするのか、どのレベルから認知として取り上げられるのか知りたい。

生徒指導：本校ではいじめが原因で不登校になった生徒はいない。ただ、一度受けた傷を完全に癒すことができず、まだ不安を抱えている生徒はおり、継続して取り組んでいる。また、解消のひとつの目安としては、一定期間辛い思いが何もなかった、としている。男子だから女子だからというのはあまり関係ない。いじめの認知は本人への聞き取りの際、本人がいじめと捉えていれば認知、また、本人がいじめではないと申告しても大人である複数の教員がこれはいじめだろう、と捉えた場合は認知報告をしている。

和田委員：保護者への報告はどのタイミングでしているのか。

生徒指導：認知の段階で両者の保護者に報告している。また三者面談等でも経過を報告できるよう常に子供と接するよう心掛けている。

和田委員：保護者への対応と子供の対応を両方やっているということか。

生徒指導：はい。

校長：基本的には、いじめ云々ではなくてもトラブルがあれば即日報告をしている。学校側で預かり整えて、という猶予はない。こんなことがありました、という報告はすぐに連絡するようにしている。

鈴木委員：「こころの天気モニター」という取り組みはとても素晴らしく、きっとそこから吸い上げることはあるだろう。とても有難い。また、「尽力」の提出は毎日ではなくてもよいことになっているのか。学年があげるにつれて提出率が悪くなっていくのはもったいない。吸い上げられるものも吸い上げられないのではないか。そこが改善できればさらに吸い上げられるのではないだろうか。

(3) 昨年度の報告、今年度の目標設定

岡本より学校支援ボランティアについて、昨年度の活動と今年度のスケジュールを報告。

また、R5年度自己評価の評価項目4「今年度の目標設定」について簡単に説明した。

山本会長：学校支援ボランティアのお手伝いをしていただける方を一人でも増やしていきたい。

また、作成したCSだよりは画面媒体の考え方もあるが、紙媒体も捨てがたい伝達力ではないかと個人的に思う。

教育委員会：ここでは、評価項目4の内容を個人的な目標ではなく、この運営協議会として今年度の目標となるよう、少し内容を絞るなど熟議していただけたらと思う。

池谷委員：より具体的な目標にするのか、抽象的でよいのか。会長挨拶で各論が3つあったが具体的な目標をあげるなら実現可能な内容を表しておくとかかりやすいのではないか。

教育委員会：ポイントを絞ってしまうよりは、大きく捉えながら広めに書く方が全てに対応できるのではないと思う。大きく捉えながらみなさんと絞り込んでいただけたらと思う。

山本会長：本日考え方は捉えた。挨拶運動、学校支援ボランティア活動への参加、代表生徒とのコミュニケーション対談の3つを持っている。次回協議会までには明文化して提示したものを皆さんで共通理解する、ということにさせていただきたい。

教頭より、夢育やらまいか事業に対する意見書についての説明と、今年度の運営協議会のスケジュールを確認し、会を閉じた。

1 令和6年度 浜北北部中 学校運営協議会 目標(案)

- (1) 学校支援活動について地域・保護者などへ呼び掛けを行い、少しでも学校と地域の繋がりに関わることができるように、委員として、主体的・積極的に努めたい。
- (2) 学校関係評価において、必要とされる項目について前向きに取り組み、充実した協議会になるよう熟議したい。
- (3) 可能な限り行事など学校へ足を運ぶ回数を増やすことができるとよい。
- (4) 子供たちの支援活動、連携を引き続き課題とする。
- (5) 子供たちの支援活動のため、学校・地域の連携に努める。協議会に出席してもらえる先生方との意見交換も大切にしていく。委員としてできることを探していく。

※1 下線部分は新たに挿入

※2 通し番号を新たにつける

※3 「コロナ云々」の表現は削除

2 令和6年度から実施したい活動

[1] 運営協議会委員として実施する「朝のあいさつ運動」

① 実施時期

② 内容

[2] その他

3 今後 継続・実施していきたい活動

[1] 部活動支援のありかた

[2] 運営協議会の広報のしかた

[3] その他

【 学校支援ボランティア実績 】

	家庭科（３名）			書写（２名）				園芸部（１名）
ボランティア氏名	平井さん R4.11～ 鈴木さん R5.11～ 山本さん R6. 9～			河合さん R4.11～ 源馬さん R4.12～				室内さん R4.11～ (鈴木さん R4.12～)
R 4	1年(洋裁)	2年(調理)	3年(調理)	1年	2年	3年	9組	10
	31	0	12	2	0	6	14	
R 5	1年(洋裁)	2年(調理)	3年(調理)	1年	2年	3年	9組	20
	52	12	6	14	12	12	2	
R 6 (～9/9現在)	1年(洋裁)	2年(調理)	3年(調理)	1年	2年	3年	9組	7
	12	11月頃～		6	6	6	2	
学年別計	95	12	18	22	18	24	18	37
総計	125			82				

あ い ち つ
あ い ち つ
あ い ち つ

A S K

平日

◎平日の学校部活動は継続

学校部活動

【位置付け】学校教育の一環

指導者	教員・部活動指導員 ※外部指導者の参加は可能
場所	在籍する学校及び近隣施設
費用	用具・交通費等の実費
補償	災害共済給付

○学校部活動として大会に参加することは可能

その学校の生徒が参加



休日

◎休日は「地域クラブ活動」へ移行

(体制が整わない場合は、「部活動指導員による学校部活動」を経て地域クラブ活動へ移行)

地域クラブ活動

【位置付け】社会教育の一環

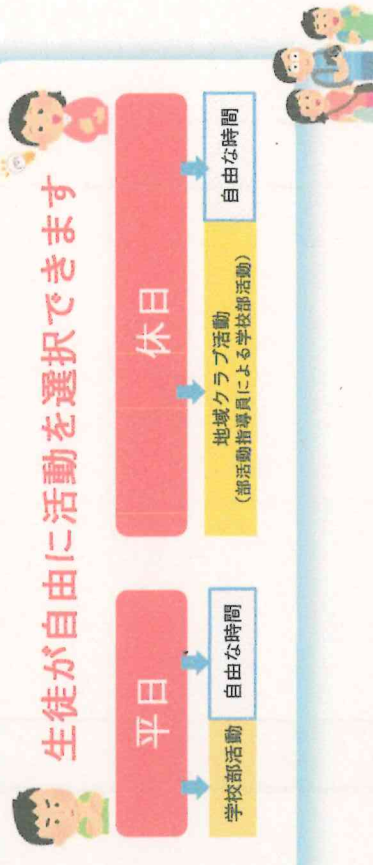
運営団体 実施主体	中学校地域クラブ、スポーツ協会加盟団体、 NP0法人、吹奏楽連盟加盟団体、 総合型地域スポーツ・文化クラブ、 民間事業者 等
指導者	地域住民、指導を希望する教員（兼職兼業等）、 運営団体・実施主体が派遣する指導者 等
場所	学校施設、公共のスポーツ・文化施設、社会教育施設、 地域団体・民間事業者等が有する施設 等
費用	会費、用具代、交通費 等
補償	各種保険 等

どの学校の生徒でも参加可能



【基本理念】浜松市は、生徒の豊かなスポーツ・文化芸術活動の実現（持続可能な活動環境の構築）を目指します。

生徒が自由に活動を選択できます



学校部活動



その学校の生徒が参加

指導者	部活動指導員 ※外部指導者の参加は可能
場所	在籍する学校及び近隣施設
費用	用具・交通費等の実費
補償	災害共済給付

○部活動指導員は、単独の指導・引率が可能な市の会計年度任用職員

中学校は、学校運営協議会等で「休日の部活動の地域移行のあり方」について継続的に協議する。



浜北北部コミュニティ・スクールだより

浜松市立浜北北部中学校 学校運営協議会 R6第9号

第1回学校運営協議会を開催しました！

本校では「地域とともに育てる」「地域とともにある学校」をめざして、令和4年度から学校運営協議会（コミュニティ・スクール）が導入されています。このコミュニティ・スクールとは、学校と地域（保護者や地域住民等）が目標を共有し、一体となって地域の子どもたちを育んでいく学校のことをいいます。その核となるのが学校運営協議会です。新たに2名の新任委員を迎え、第1回学校運営協議会を開催し、今年度の方針や目標について話し合いました。協議会の詳細は、学校HPからご確認いただけます。本年度も、学校運営に地域の声を生かし、学校、家庭、地域が協力して必要な情報提供や協議を踏まえた支援活動を進めながら、コミュニティ・スクールの周知を図っていきます。

令和6年度 学校運営協議会委員

会長	山本 忠雄
副会長	池谷 真也
委員	和田 安彦
	矢野 陵子
	室内 恵理香
	鈴木 貴子
	加藤 悦子（新任）
	小西 雅子（新任）



今年も学校支援ボランティアが始まりました！

本校では、子どもたちの学習をより充実したものにするため、書写、家庭科、園芸部にボランティアさんに来ていただき、地域の方々よりご支援をいただいています。この活動も3年目になり、久しぶりのボランティアさんとの再会に「僕のこと覚えていますか？」と話しかける子や、授業後、ボランティアさんの周りに子どもたちが集まってくる光景が見られるようになりました。書写では正しい書き順の大切さを教えてもらい、何度も書き直す子、朱液で合格の丸をもらってガッツポーズをする子もいました。ボランティアさんからの「がんばったね！」「またね！」の温かい声掛けに、子どもたちにとっても地域の方々に支えられていることを実感できた有意義な時間となりました。

【書写】



【1年生家庭科（洋裁）】